

令和2年度教育研究活動報告書

氏名	塚本真紀	所属	塚本真紀
学位	博士（学術）	職位	教授
専門分野	心理学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	心理学入門、現代社会と人間行動、発達と学習、文章表現法入門、教育相談の理論と方法、教職実践演習、教育臨床実習、教育実習事前事後指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ
大学院	心理学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）比喩理解・生成過程の個人差に関する検討	
（2）経験学習におけるリフレクション・プロセスの検討	
（3）先延ばし過程のリプランニングに関する検討	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30	
R2 <論文>「学科専門教育課程における「学びのプラットフォーム」構築の試み～学修データベースの構築と活用可能性に着目して～」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第20号、2021年。 <論文>「共感覚表現の認知に関する検討－俳句に含まれる共感覚表現の理解しやすさと作品のおもしろさとの関係について－」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第20号、2021年。 <その他>「尾道市立大学教職支援センター紀要第2号」 2021年3月25日発行。編集担当として「教職支援センター活動報告」「教職課程における学びの振り返り」「教員免許状更新講習」「ボランティア活動」のページを執筆。	
R1 <論文>「読書体験共有活動の有効性－行動分析学からとらえた読書活動推進効果－」『尾道市立大学教職支援センター紀要』、2020年、111-114。	
H30 <論文>「文章作成時の文脈展開がその後の文章理解に及ぼす影響－身体感覚表現を用いた検討－」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第17号、2019年。 <その他>「平成30年度日本文学科フィールドワーク報告書」『尾道文学談話会会報』、第9号、2019年2月発行。 <その他>「尾大教ボラ2018－尾道市立大学教職課程で学ぶ学生の教育ボランティア活動報告－」 2019年3月発行。	
H29以前の主な研究業績	
（1）<論文>「学生主導による「子どもの学びの支援」－アウトリーチ型教育活動実践に向けての話し合い過程の分析－」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第14号、2016年。	
（2）<その他> 「尾大教ボラ2016－尾道市立大学教職課程で学ぶ学生の教育ボランティア活動報告－」 2017年3月発行。	
（3）<その他> 「きつねとたぬきの潜在的印象」 『尾道文学談話会会報』、第5号、2015年。	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H30・R1・R2	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本心理学会 日本認知心理学会 日本認知行動療法学会（令和2年度学術大会準備委員～令和2年9月13日まで） 中国四国心理学会	